

金沢競馬場 耐震補強工事



(目的)

本施設は昭和47年に建設されたものであり、耐震診断を実施した結果、耐震強度の不足が判明した。

工事中も施設を運営する必要があったため、施設利用者の安全確保の観点から平成29年度と平成30年度の2ヶ年に分けて耐震補強工事を段階的に実施した。

鉄骨ブレースや鉄筋コンクリート造補強壁による補強のほか、大庇及び高架水槽の撤去による軽量化によって耐震性を確保する手法を採用した。



鉄骨ブレースによる補強



鉄筋コンクリート造補強壁による補強

(工事内容)

- ・上層階の軽量化: 大庇の解体撤去、高架水槽の撤去
- ・鉄骨ブレースによる補強: 19箇所
- ・鉄筋コンクリート造補強壁による補強: 52箇所
- ・その他: スリットの設置など

DATA

⑧改修工事等
金沢市八田町地内
平成29年10月～平成31年3月
スタンド棟
RC造(一部S造): 地上5F
延床面積13,872㎡